



# レンジフード 取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
  - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危険や損害の大さと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをする生じることが想定される内容の「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
  - △警告**:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
  - △注意**:人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁ずる内容を告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
  - 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源コードをコンセントから抜いてください）が描かれています。
- 絵表示の例

**△警告**

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
● 分解・修理・改造禁止
- 交流 100V 以外では使用しないこと  
● 使用禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
● 埋込禁止
- 取付注意

**△取付注意**

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
● 誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板との間に隙間がある場合、火災・感電の原因になります
- レンジフードの排気口等の間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
● 火災などの原因になります  
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること  
● 火災などの原因になります

**△注意**

- レンジフードは薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取付けること  
● 無電の場合は、発火するおそれがあります
- アースを確実に取り付けること  
● 故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
● アースの取付けは販売店にご相談ください
- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分換気される配慮をする  
● 排気ガスが室内に逆流し、一般化炭素中毒を引き起こすおそれがあります
- 手袋をする  
● 手袋をする
- 作業は2人以上で  
● レンジフードは約 32kg の重さがあります

## 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が工事をおこなう必要があります。
  - ・大工事【設置のための下地工事等】
  - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
  - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
  - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定の不燃材料で被覆してください。
  - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものを使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。性能が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けられたベントキャップまたはパイプの通気抵抗は  $400\text{m}^3/\text{h}$  時  $50\text{Pa}$  以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトを細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能を劣らせる傾向があります。直角に折り曲げたり、駆ぎが大きくなりますが、必ず直角に折り曲げください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて取り扱い配管を設けてください（目安：勾配 1/100～1/150 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフード取扱い高さは、レンジフードの幅が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横向方 50cm 以上離れて取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中でも調理される場合は油煙が捕集されませんので、お台所全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約  $400\text{cm}^3$  程度の空気取入口を設けてください。
- 密閉されている場合はダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れれる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- レンジフードの配線工事の際は、壁スイッチを使用しないでください。レンジフードへの通電が遮断されますと、お手入れ時期の表示（お手入れランプ）を正しく点灯させることができなくなります。
- 排氣ダクトの取り出し（取付詳細図－2）
  - φ 150 のスパイラルダクトを、取付詳細図－2 の位置に取り出してください。
- 標準取付寸法
  - 本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで 80cm です。
  - ※火災予防条例では、グリスフィルター（ディスク）の下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。
- 電源コンセント・ブレーカー
  - 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（電圧・単相 100V）
  - コンセントは JIS C 8033 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。
- お願い
  - 必ずアース工事（D 種設置工事）をしてください。レンジフードが誤動作することがあります。
- 風呂おまかせ運転（風量自動切替）機能をよくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

## 取り付け前の調査と準備

**△警告**

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
● 分解・修理・改造禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
● 埋込禁止
- 取付注意

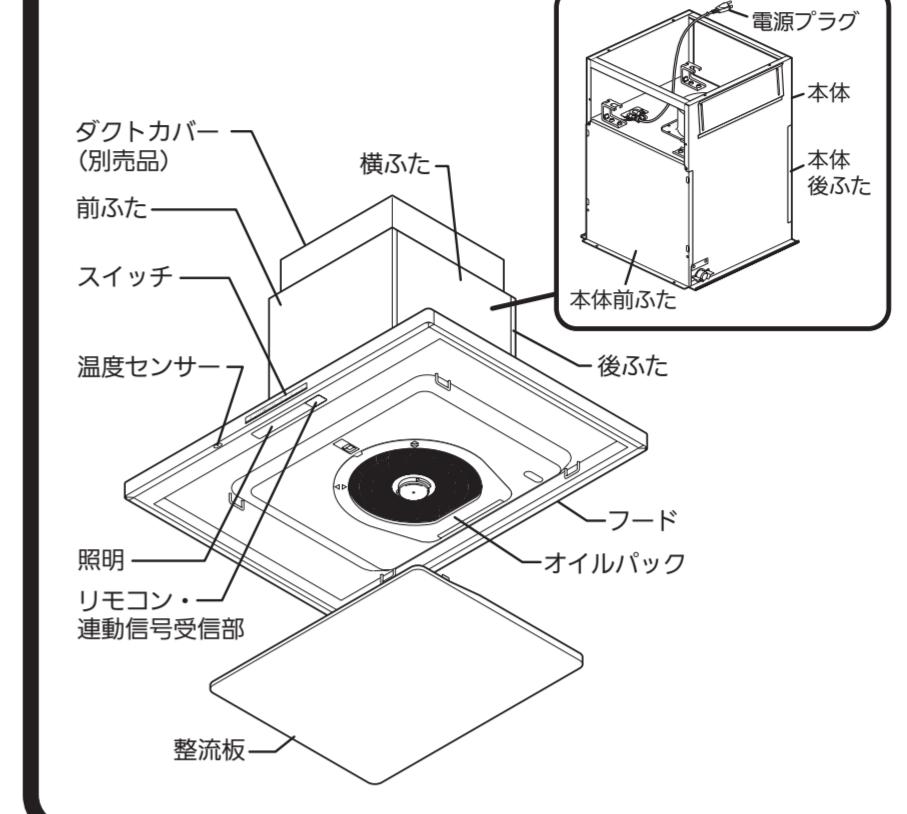
**△注意**

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
● 火災などの原因になります  
● 手袋をする
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
● 漏電した場合、発火するおそれがあります
- レンジフードの取付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
● 落下によりけがをするおそれがあります

**△注意**

- 周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けないこと  
● 火災・故障の原因になります
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
● 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- レンジフードのダクトカバー（別売品）の取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
● 落下によりけがをするおそれがあります

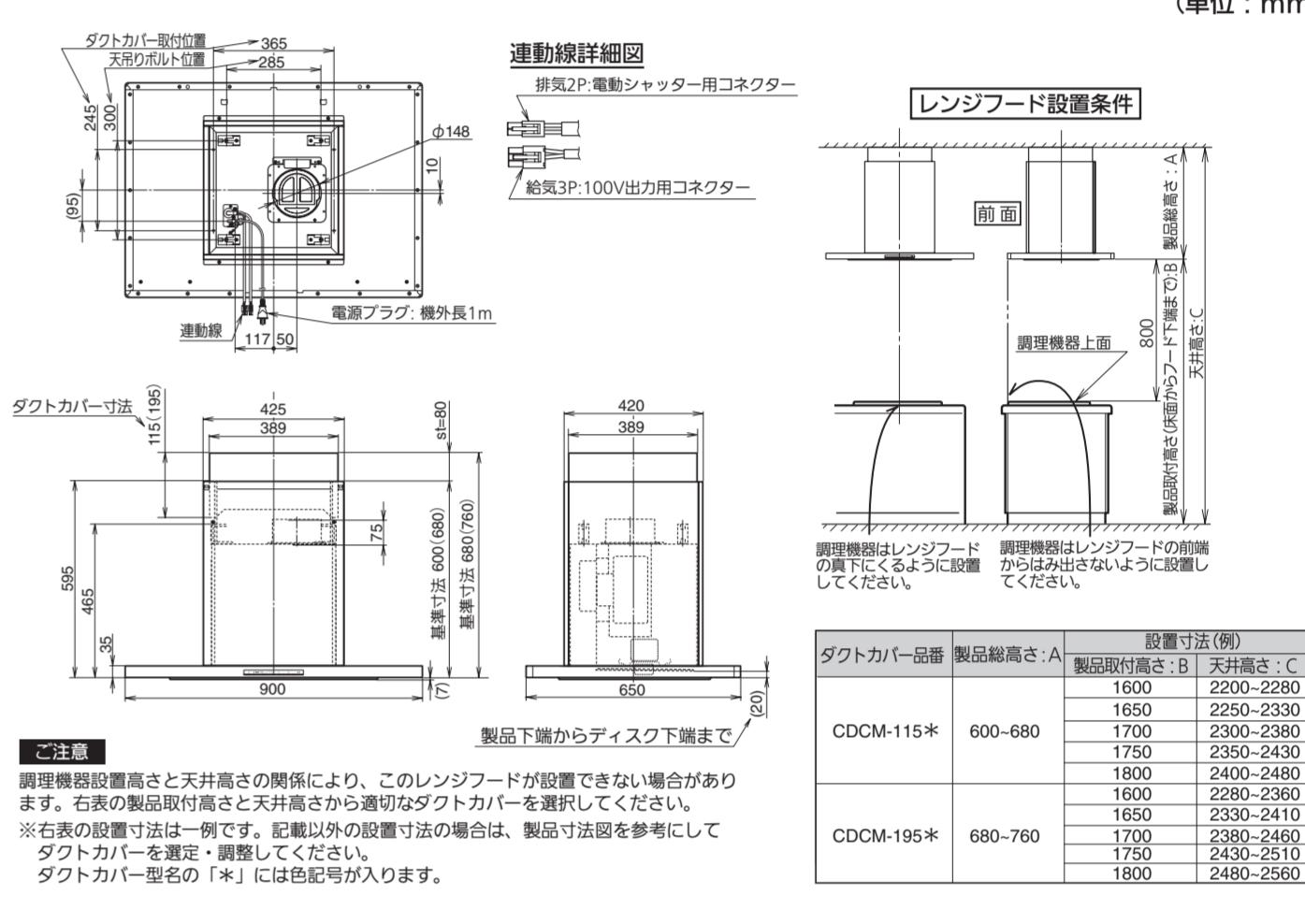
## 各部のなまえ



## 付属品

- トラスねじ(M4×6) 4本
- ダクトカバーおよびフードの取り付けに使用します。
- ナベねじ(M5×10) 8本
- フードおよび本体前ふたの取り付けに使用します。
- フード固定金具 1個
- フードと本体の固定に使用します。
- ソフトテープ 1本
- 排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使用します。

## 製品寸法図



## 取り付けかた

### 1. 付属品の確認

#### △注意

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
● 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- 手袋をする

付属品を確認します。

荷物箱から付属品を取り出し、上頂の付属品一覧により不足がないか確認します。

お願い

- ・保護用のクッション材と固定テープはキズ、破損防止のため、「3. フードの準備」までは使わないでください。（図 1-1）
- ・フード天面に貼られている保護用テープは「4. 本体の取り付け」（手順 7 の 5）にて指示があるまでは使わないでください。（図 1-1）
- ・床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・取付作業はキズ・破損のないように十分注意してください。

### 2. 取付準備

#### △警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが電気的に接触しないよう取り付けること  
● 漏電した場合、発火・感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
● 火災などの原因になります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
● 火災などの原因になります  
● 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。

#### △注意

- 浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
● （浴室用換気扇をお使いください）  
● 感電や火災の原因になります
- 周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けないこと  
● 火災・故障の原因になります

お願い

・浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
（浴室用換気扇をお使いください）

・周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります

取付禁止

・浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
（浴室用換気扇をお使いください）

・周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります

・浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
（浴室用換気扇をお使いください）

・周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けうこと  
火災・故障の原因になります

・浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
（浴室用換気扇をお使いください）

・周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けすこと  
火災・故障の原因になります

・浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
（浴室用換気扇をお使いください）

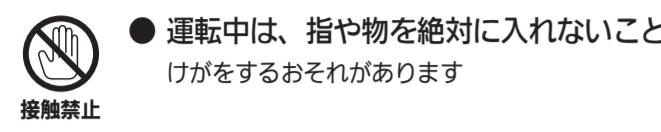
・周囲温度が  $40^\circ\text{C}$  以上になるところには取り付けすこと

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、  
正しく取り付けをおこなってください。安全上の  
ご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上の  
お願ひは表面をご覧ください。

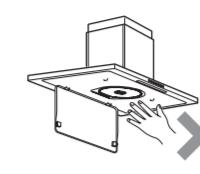
## 取り付けかた

### 6. 試運転

#### △ 注意



- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 前ふたは取り付けていない状態で試運転してください。
- 整流板やディスクが正しく取り付けられていることを確認してください。  
整流板が正しく取り付けられていないと、運転停止機能により運転ができません。  
ディスクを取り付けていないかたり、取り付けが不完全な状態で運転すると、  
ディスク付け忘れお知らせ機能により、付け忘れをお知らせします。
- 運転時、各速度の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 自動運転機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。



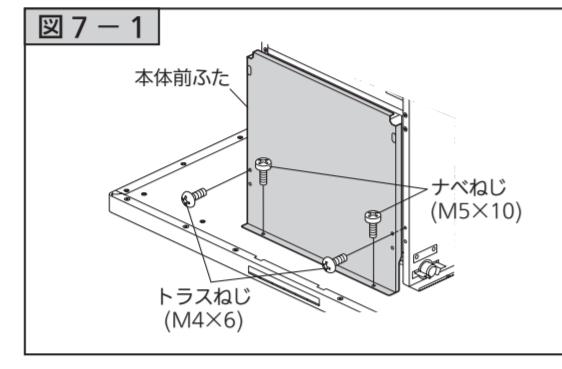
### 7. 本体前ふた・横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

- 横ふたは左右同一品です。また、前ふた・後ふたも同一品となります。

#### お願い

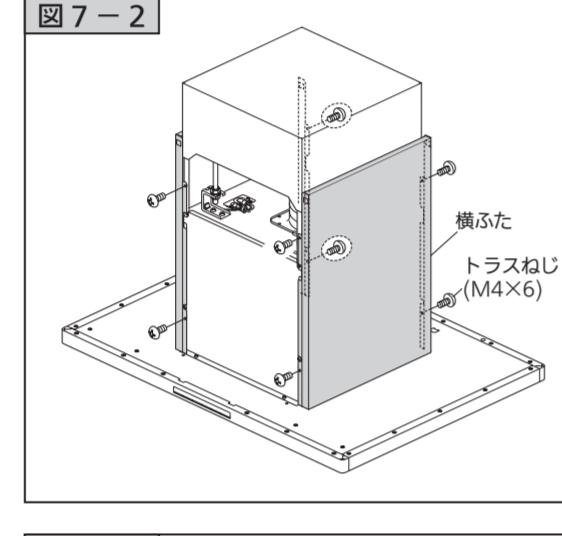
- ・取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないように注意して取り付けてください。

#### 1 本体前ふたを取り付けます。 (図7-1)



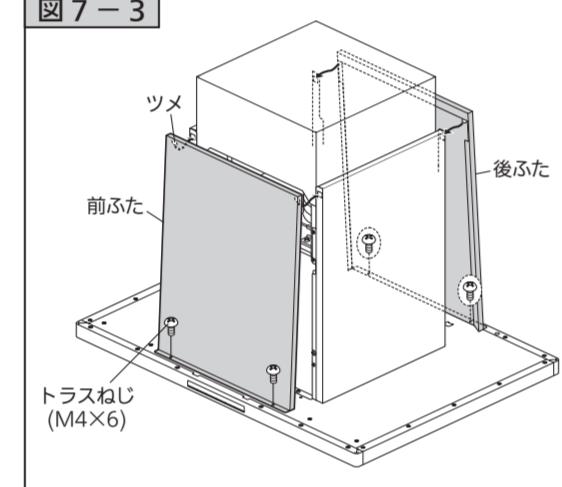
#### 2 横ふたを取り付けます。(図7-2)

「3. フード・本体の準備」手順2で  
はずしたト拉斯ねじ (M4×6) 各4本  
を使用して横ふたを取り付けます。



#### 3 前ふた・後ふたを取り付けます。 (図7-3)

1) 前ふた上端のツメ2ヶ所を本体  
に差し込み、付属品のト拉斯ねじ  
(M4×6) 2本で前ふたの下端を  
フード天板面で固定します。  
2) 後ふたも同様の手順で取り付けま  
す。



#### 4 整流板を取り付けます。



※ 取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープは  
もとの状態に取り付けてください。

### 8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

〔製造元〕 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号  
TEL 042(768)3754 (営業部)